

経産省とKHK「第62回高圧ガス保安全国大会」開催 大臣表彰24件・名 会長表彰70件・名

経済産業省と高圧ガス保安協会（略称＝KHK）は10月24日、都内ホテルで「第62回高圧ガス保安全国大会」を共催した。経済産業大臣表彰に24件・名、高圧ガス保安協会会長表彰に70件・名の合計94件・名が表彰の栄誉に浴した。

長きにわたる取り組みと 災害復旧に顕著な功績

当日は午後1時から表彰式がおこなわれ、執り行われた。

まず高圧ガス保安経済産業大臣表彰が行われた。その冒頭、経済産業省の湯本啓市技術総括・保安審議官は、「この高圧ガス保安表彰は、皆さまの着実かつ長きにわたる取り組みと近年の災害復旧における顕著な功績を称えるものです。本日表彰を受けられる皆さまにおかれましては、誠におめでとうございます」と前置きし、スマート保安の強力な推進や「水素社会推進法」などについて言及。

そして、「引き続き、現場主義を徹底して高圧ガスに取り組む関係者の皆さまからご意見を伺いながら、保安力の一層の向上を図ってまいります。長年にわたって培われたご知見をさらなる安全性の向上や後進の指導につなげていただくこ



式辞を述べる湯本審議官

とを期待しております」などと式辞を述べた。

経済産業大臣表彰では、優良製造所に第一化成産業（埼玉県）など7件。優良販売業者は東進産業西那須野営業所（栃木県）など3件。保安功労者は平野和好氏・平野燃料店（栃木県）など10名。保安功労者は小川武史氏・青山学院大学（東京都）1名。優良製造保安責任者は高橋茂氏・精工化学川口工場（埼玉県）など3名。優良業務主任者は山岸則明氏・富山ガス（富山県）1名。

合計で24件・名が表彰され、受賞者代表による答辞も行われた。



式辞を述べる加藤会長

暮らしを守る安全・安心 質の高いサービスを提供

経済産業大臣表彰に続き、高圧ガス保安協会会長表彰が行われた。その冒頭、加藤洋一会長は、「（高圧ガス保安）経済産業大臣表彰を受賞された皆さまに心よりお祝いを申し上げます。高圧ガス保安協会会長表彰を受賞される皆さまに、心よりお祝いを申し上げたいと存じます」などと冒頭に述べるとともに、受賞者らの活躍による高圧ガス事業所での爆発・火災事故が減少傾向にあること、気候変動による自然災害の発生、保安確保の意義と重要性の再認識、最近のKHKの活動や水素の社会実装などについて言及。

「（KHKは）国民の暮らしを守る安全・安心のため高圧ガスによる災害の防止、自主保安活動の促進、LPガスにかかる消費者の保安確保、企業マネジメン



表彰式の様式



経済産業大臣表彰

トシステムの高度化など、公正で質の高いサービスを総合的に提供し、皆さまのニーズに対応した事業を進めていくことがその使命であると認識しております。これからの産業社会の変化に即応しつつ、その健全な発展に貢献してまいります」などと式辞を述べた。

保安協会会長表彰では、優良製造所にアストモスガスセンター東北扇町営業所（宮城県）など6件。優良販売業者は石塚燃料（栃木県）など8件。優良特定高圧ガス消費者は新コスモス電機（大阪府）1件。保安功労者は川本武彦氏・サイサン（埼玉県）など31名。優良製造保安責任者は関口昌崇氏・関東高圧容器製作所（群馬県）など2名。優良販売主任者は細野貴志氏・モチキ前橋営業所（群馬県）の1名。優良業務主任者は石井雅也氏・サンワ（群馬県）の1名。優良特定高圧ガス取扱主任者は福井達人氏・四国電力火力本部阿南火力事業所阿南発電所（徳島県）の1名。保安功績者は坂下尚氏・ミライフ東日本（宮城



高圧ガス保安活動促進週間ポスター

2025年10月23日(木)～29日(水)
高圧ガス保安活動促進週間

県）など19名。

合計で70件・名が表彰されるとともに、「高圧ガス保安活動促進週間」ポスター用キャッチコピー（「G 現場では A 安全安心 S 最優先」）では、岡野賢氏（北海道大学）が同協会会長賞を受賞し、受賞者代表による答辞も行われた。

日本瓦斯がペットオーナー向け新プラン 「でガ割もふもふ」販売を開始

日本瓦斯（略称＝ニチガス、柏谷邦彦社長）は1日から、家庭でペットと暮らす顧客向けの新プラン「でガ割もふもふ」の販売を開始した。

同プランは、冷暖房などで光熱費の負担が大きくなりがちなペットオーナーに最適な電気とガスのセットプラン「でガ割」と同じ料金プランで、売り上げの一部を動物環境団体等へ寄付することにより、動物たちへの優しさを形にしていこうという企画である。

販売開始を記念した期間限定の特典として、2026年2月22日（にゃんにゃんの日）までに同プランの申込者を対象に、

ペットの写真を印刷したオリジナルグッズをプレゼントする。

〈詳細は特設サイト〉<https://www.nichigas.co.jp/degarimofumofu>で。



東日本ジクシス会が秋季研修会

LPG海外情勢やGXの課題

東日本ジクシス会（小谷野敬一郎会長）は先ごろ、港区の東京プリンスホテルで「東日本ジクシス会 秋季研修会」を開催した。

冒頭、小谷野会長は、「東日本ジクシス会は志を共有する場だと考えている。今日のような場を通して、自分がかつて出会った先人のような志を次の世代に引き継いでいただきたい」とあいさつ。

その後、第Ⅰ部では、ジクシスの岩下弘明常務が「LPG海外情勢」の演題で講演。岩下常務は、LPガスや船舶の世界的な需給見通しに加え、25年10月のCP価格が下落した背景などについて紹介した。



おごの敬一郎小谷野会長

次いで、第Ⅱ部では、国際環境経済研究所の竹内純子理事・主席研究員が「日本のGXの課題と展望～脱炭素時代の成長戦略～」の演題で講演した。竹内理事は、日本におけるGXの経済成長戦略と



講演する岩下常務

しての位置付けに言及しつつ、米国のトランプ政権が打ち出した政策の影響、欧州の経済状況の悪化、ESG投資の伸び悩みといった世界情勢・エネルギーを取り巻く状況の変化について詳説した。

おそうじ革命のスタッフとガス事業部の石井部長（一番右の人物）



三愛オブリガス おそうじ革命と フランチャイズ契約を締結

三愛オブリガス事業部（石井浩一郎部長）はこのほど、ハウスクリーニング事業を展開するおそうじ革命（福井智明社長）とフランチャイズ契約を締結した。それに伴い、10月28日に三愛オブリ本社で新規事業への参入に関する説明会を開催した。

具体的には、三愛オブリガス三神と播

州がハウスクリーニング事業へ進出する運びとなったものだ。おそうじ革命は、全国に約420店舗を構えており、ハウスクリーニング事業だけでなく、ビルメンテナンス事業も強みとしている。同社の約2カ月間にわたる研修プログラムにより、クリーニングスタッフを育成するという。

上記を受けて説明会では、ガス事業部の石井部長が新規事業への参入経緯等について説明した。それによると、三愛オブリが強みとする「顧客基盤」をさらに充実させるとともに、LPガスビジネスからLP（ライフパートナー）ビジネスへの展開を図り、成長事業へと発展させていくとしている。

アストモスエネルギー役員人事

アストモスエネルギーは2026年1月1日付の役員人事について下記の通り内定および決定した。

1. 常取取締役

12月5日開催予定の株主総会およびその後開催される取締役会にて正式決定される予定。

(1) 昇役

▷代表取締役社長佐藤利宜▷代表取締役副社長国際領域担当サブプライチェーンマネジメント管掌高橋良仁

(2) 退任

▷代表取締役社長山中光

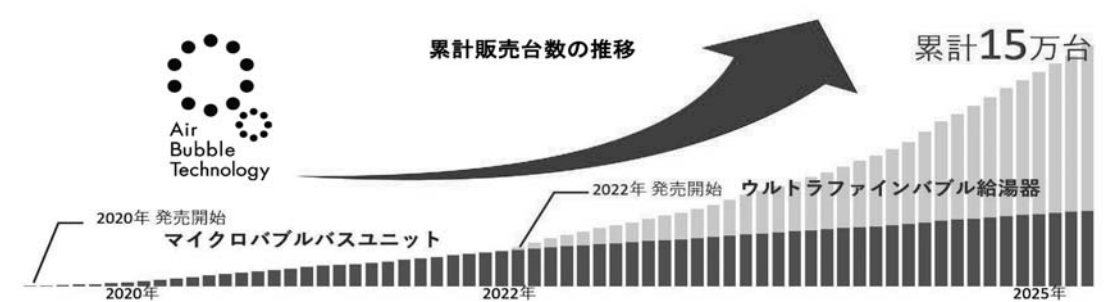
2. 副社長執行役員

10月31日付取締役会にて正式決定し、2026年1月1日付の就任となる。
▷副社長執行役員国内領域担当事業開発管掌（兼）地域戦略管掌栗原好宏

リンナイ エアバブル商品

販売台数が15万台を突破

リンナイ（内藤弘康社長）はこのほど、2020年から発売している「Air Bubble Technology（エアバブルテクノロジー）」搭載商品（エアバブル商品）の販売台数



が、25年9月で累計15万台を突破したと発表した。

同社は企業戦略の一つに、顧客の「生活の質の向上」を実現する商品の開発を続けており、20年にマイクロバブルバスユニット、22年にはウルトラファインバブル給湯器を発売。

上記2機種が搭載する「Air Bubble Technology」は、微細な泡を水に溶け込ませる技術において、リンナイが長年の研究を重ねたテクノロジーが詰まっている。社会的なニーズとなる「家事負担軽減」や「美容・健康」のテーマに対し、エアバブル商品の特性がマッチし、発売開始からわずか5年で累計15万台を突破

したもの。

この5年間に、Air Bubble Technologyはリンナイ給湯器の主要シリーズに搭載しており、現在も幅広くラインアップを拡充している。主に高効率給湯器「エコジョーズ」に搭載しており、発売開始前からのエコジョーズの構成比率は5割の上昇を示し、同機種の普及拡大が地球環境への貢献に寄与している。

ファインバブルを研究・検証する中で、さまざまな効果と効能が明らかになっており、今後も効果の検証を行っていくとともに、さらなるラインアップの拡充と普及拡大を目指していくとしている。